

ボランティアってどんなこと？

ボランティアとは、特別なことではありません。

たとえば、自分の家の庭が汚れていけばきれいにする。
花を植えて楽しめるようにするかも知れません。
また、家族がケガをして困っていれば助けますよね。

では、もう少し広げてみましょう。
自分の家の近くの道路のゴミを拾う。公園に花を植える。
道に迷って困っている人がいれば道を教える。

**自分だけのことから、少し広げて
他の人や社会のことをちょっと考えてみる。**

そうすれば、
道路をきれいにするボランティア活動も、
公園に花を植えるボランティア活動も、
困っているお年寄りや子どもを助けるボランティア活動も
ずっと身近なものに感じますよね。

もう少し広げたら、
困っている海外の子どもや汚れていく地球のことも
身近になるかも知れません。

**まずは、身近なところから考え、
少しずつ視野を広げていくことが大切なのです。**



ボランティアの大事なことについて 考えてみましょう…

ボランティアの大事なことは、

- ① 自分からすすんで行動する（自主性・主体性）
- ② とともに支え合い、学び合う（社会性・連帯性）
- ③ 見返りを求めない（無償性・無給性）
- ④ よりよい社会をつくる（創造性・開拓性・先駆性）

ボランティア（Volunteer）
という言葉は
ラテン語の **Volo**（ウオロ）
という言葉に由来します。
これは

「**自発的に**
自らの意思をもって
行動する」

「喜んで何かをする」
という意味を
もっています。

**自分からすすんで行うということが
最も大切なことなのです。**